

DMG森精機株式会社

証券コード: 6141

DMG MORI



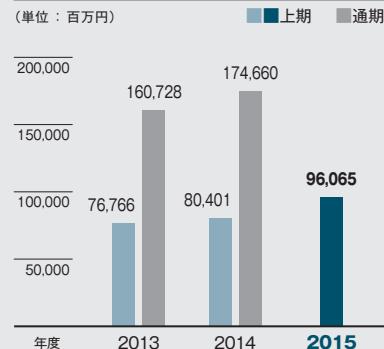
お客様にとって一番の 工作機械メーカーであること。 それが私たちの グローバルワンです。

工作機械の総合メーカーとして、DMG森精機は常に
変革と挑戦を続けてまいりました。
そして今、私たちが目指していること。それは、お客様に
とって一番の工作機械メーカーになることです。
最高の技術とサービスを絶えず追求し、工作機械の
新しい価値を、無限の可能性を、
世界中のお客様へお届けしてまいります。

取締役社長
工学博士 森 雅彦

■ 連結売上収益

961 億円 (4~6月)
前年同期(4~9月)比
157 億円 増



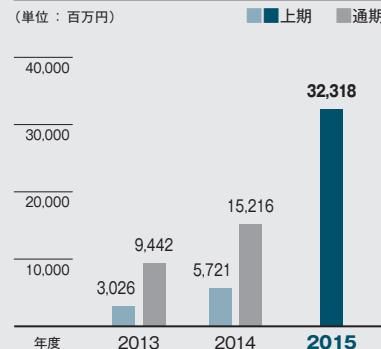
■ 連結営業利益

340 億円 (4~6月)
前年同期(4~9月)比
294 億円 増



■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

323 億円 (4~6月)
前年同期(4~9月)比
266 億円 増



(注)1.当社は、2015年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたします。従いまして、2015年12月期は決算期変更の経過期間となることから、2015年4月1日から2015年6月30日を上期としております。
2.当社は、2015年12月期よりIFRS(国際会計基準)に基づき連結財務諸表を作成しており、2015年12月期においてはIFRSによる数値を掲載しております。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より
お礼申し上げます。ここに第68期中間期(2015年4月
1日から2015年6月30日まで)の株主通信をお届け
するにあたり、ごあいさつ申し上げます。

■ 事業の経過及び成果

当社は、2015年12月期第1四半期より国際会計基準(以下、
IFRS)を適用しています。IFRSの適用に当っては、比較基準の要請が
あり、適用移行日は2014年4月1日とし、2015年3月期第1四半期及び
2015年3月期通期についてもIFRSに準拠して作成しております。また、
当社はドイツDMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT(以下、DMG
MORI AG)に対する公開買付を完了し、DMG MORI AGの株式の
議決権所有割合は52.54%となりましたので、2015年4月1日より連結
対象としております。

当第1四半期の売上収益は96,065百万円となり、その他の収益には、
DMG MORI AGグループが連結対象となったことに伴い、当社が過去に
取得したDMG MORI AG株式等の段階取得に係る差益37,296百万円が
計上されております。営業利益は33,965百万円、税引前四半期利益は
33,678百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は32,318
百万円となっております。地域別の受注環境は、国内の受注が好調に推移
したほか、中国、アジア地域も健闘しました。米州は通貨安の影響もあり
高原横ばい圏での推移となりました。一方、欧州全体としては停滞
しましたが、イタリア、スペインなど一部地域では回復してきております。

■ 当中間期の取り組みと課題

当社は、世界市場でのプレゼンスをさらに高めるため、展示会、
テクノロジーセンタ、ソリューションセンタの充実に力を入れております。
4月に北京で開催された「中国国際工作機械見本市(CIMT)2015」では
最大のブースを確保し、革新的な新オペレーションシステムCELOSを
搭載した、計35台の最新鋭の工作機械を展示いたしました。また、
7月には当社伊賀事業所において、「IGA INNOVATION DAYS
2015」を開催し、約9,000人のお客様が来場され大盛況となりました。
世界最大のショールームには、旋削/ミリング加工にレーザ金属積層
造形を融合し、5軸でのレーザ金属積層造形を可能にするLASERTEC
4300 3Dなど、世界初出展となるWorld Premiere 7台を含む計58台を

展示いたしました。また、全面的にリニューアルされた世界最大の
新グローバルソリューションセンタにおいて、経験豊富な専任スタッフが、
多数の事例やデモ加工を交えた実践的な技術ノウハウと、お客様の
生産性向上に貢献するソリューションをご提供いたしました。今後、
主として自動車、航空機関連向けのソリューション提案に備え、奈良
事業所にターンキー工場を建設することを公表しておりますが、地鎮祭も
終え建設は計画通りに進行しております。また、世界第5位の市場規模と
なる韓国においては、ソウルに新テクノロジーセンタの建設に着手しました。

6月に2主軸2刃物台を備え、2工程を同時に加工することが可能な正面
並行2スピンドル・2タレット旋盤NRX 2000を発表いたしました。NRX
2000は新デザインコンセプトの1つであるシャープな直線を取り入れた
Stealth Design(ステルスデザイン)と、タッチパネル操作の
COMPACTlineを搭載し、自動車のフランジ形状部品の量産加工に最適な
機械です。

また、ECOLINEシリーズの新たなラインアップである立形マシニング
センタ ecoMill Vシリーズ ecoMill 600 V、ecoMill 800 V、ecoMill
1100 Vの3機種を開発いたしました。ECOLINEシリーズは、DMG
MORI AGと共同で開発した立形マシニングセンタで、両社の高い
技術力を融合した設計により高精度と高剛性を実現し、高い生産性や
価格と性能の優れたバランスを誇る機械となっております。さらに、長年
にわたってご愛顧いただいておりますワシノブランドの複合加工機
及び超高精度旋盤のデザインを一新し、DMG MORIグループの統一
デザインとして、新たに生まれ変わりました。今後もより多くのお客様の
ニーズにお応えできるよう、より高機能で信頼性が高く、投資価値のある
製品を市場へ投入してまいります。

■ 配当について

第68期中間配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、
1株あたり13円を9月18日からお支払いすることといたします。利益配分
につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を
中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、安定的
かつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

2015年9月



■ 2015年7月

世界最大の グローバルソリューションセンターが グランドオープン

7月22日(水)~25日(土)の4日間、当社伊賀事業所にてIGA INNOVATION DAYS 2015を開催いたしました。世界初出展となる7機種を含む計58台の先進の工作機械を展示し、全ての機械でデモ加工を行いました。伊賀グローバルソリューションセンターのフロアスペースを2,500m²から3,500m²に拡張し、全面的にリニューアルいたしました。これにより、伊賀グローバルソリューションセンターは世界最大の展示場に生まれ変わりました。また、これまでの機種別の展示に加えて、自動車・航空機・金型・医療という業種別の展示も両立させ、これまで以上にお客様のご要望にあった製品をご提案します。今後も当社は、未来志向の技術情報を提供する場として、伊賀グローバルソリューションセンターを活用し、お客様に最適な製品、アプリケーション、ソリューションをお届けしてまいります。



新製品3機種を発表

自動車用フランジワークの量産加工に最適な正面並行2スピンドル・2タレット旋盤NRX 2000を開発しました。NRX 2000は、新デザインコンセプトの1つであるシャープな直線を取り入れたStealth Design (ステルスデザイン) とタッチパネル操作のCOMPACTlineを搭載しており、小型機や量産加工機の生産工場である奈良第一工場で生産を開始しています。

DMG森精機ワシノ株式会社は、Y軸とミーリング機能を搭載した高精度コンパクト複合加工機、安定した加工精度を実現した、超高精度旋盤の2機種をIGA INNOVATION DAYS 2015で初披露しました。どちらもDMG MORIグループの統一デザインとして、新たに生まれ変わりました。今後も豊富なラインアップで、お客様に最適なソリューションをご提案いたします。



正面並行2スピンドル・
2タレット旋盤
NRX 2000



高精度コンパクト
複合加工機



超高精度旋盤

株主様向け

東京グローバルヘッドクォータ見学会のご案内

日時

2015年11月14日(土)
11:00~13:30

東京グローバルヘッドクォータ見学会を開催いたします。
皆様のご応募をお待ち申し上げております。

見学場所	東京グローバルヘッドクォータ 1階東京ソリューションセンター、2階セミナールーム
参加費	無料 (ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担をお願いいたします)
募集対象	2015年6月30日現在、当社株式を100株以上保有する方 (同伴者1名可。ただし小学生以上の方に限らせていただきます)

募集定員	50名 (応募多数の場合は抽選とさせていただきます)
交通	【送迎バスをご利用の方】 東京駅鍛冶橋駐車場 集合・解散 【公共交通機関をご利用の方】 JR京葉線「潮見駅」西口下車 徒歩2分 東京グローバルヘッドクォータ 集合・解散 駐車場のご用意が無いため、自家用車でのご来社はお断りさせていただきます。
備考	昼食をご用意しております。



お申し込み 左記のQRコードもしくは下記のURLからのお申し込みのみとさせていただきます。
<http://www.dmgmori.co.jp/irtour/>

締め切り 2015年 10月9日(金) 10月下旬に当選者のみ郵送でご連絡 (落選の場合はご連絡は差し上げません)

お問合せ DMG森精機株式会社 広報・展示会部 広報グループ
E-mail : users@dmgmori.co.jp

2020年Vision アプリケーションの充実により、 お客様へのソリューション提案を拡大

当社グループは「2020年Vision」を掲げ、2020年頃の達成を目指します。
今後、DMG MORI AGとの相乗効果を発揮し、経営効率をますます高めてまいります。

■ 計画目標

- 最先端技術を強化する
- 製品とITを融合した新しい顧客価値を創造する
- より速く、より経済的に、より知的な製品を提供する
- お客様に合わせた最適なサービスとソリューションを提供する
- 進化し続ける



■ 機種統合について



IFRS (国際会計基準) の適用開始

当社グループは、当第1四半期決算よりIFRSを適用した連結財務諸表を
開示しております。IFRSは国際的な会計基準としてDMG MORI AGでも
適用されており、財務情報の比較可能性の向上、グループ内の会計処理の
統一を図り、ステークホルダーの皆様の利便性を高めてまいります。

IFRSとは?

International Financial Reporting Standardsの略称です。2005年よりEU域内の統一基準として適用が義務付けられたのを契機に全世界で導入が広まり、現在は100以上の国や地域で利用されています。日本では2010年3月期より、上場会社の連結財務諸表において、IFRSの任意適用が認められています。工作機械業界では、当社が初の導入となります。

IFRSへの変更のポイント

■ 連結財務諸表の構成

日本基準	IFRS
連結貸借対照表	連結 財政状態計算書
連結損益計算書及び包括利益計算書	連結損益計算書及び包括利益計算書
連結株主資本等変動計算書	連結 持分変動計算書
連結キャッシュ・フロー計算書	連結キャッシュ・フロー計算書
注記	注記

当社(DMG森精機株式会社)単体の財務諸表は、今後も従来通り日本基準で作成いたします。

■ 連結損益計算書の表示

日本基準	IFRS
売上高	収益
売上総利益	費用 在庫の増減、材料費、人件費、減価償却費、その他
営業利益	営業利益
経常利益	金融収支等
特別損益	税引前当期利益
税金等調整前当期純利益	当期利益 (当期利益の帰属)
少数株主損益調整前当期純利益	親会社の所有者
当期純利益	非支配持分

- 「売上高」の表示がなくなり、「収益」として表示しております。
- 金融収支以外の項目は営業利益の構成要素となります。
- 経常利益の概念がなくなり、特別損益項目もなくなりました。
- IFRSにおける「当期利益」は非支配持分も含んだ概念であり、従来の「少数株主損益調整前当期純利益」に該当します。
- DMG MORI AGと同様の開示形式となっております。

IFRS適用に向けての取り組み

当社は以前よりIFRS適用に向けての取り組みを行ってまいりました。会計処理の主要な相違点と、当社の対応は以下の通りです。

項目	日本基準	IFRS	当社の取り組み	
			変更点	対応状況
売上計上基準	主に出荷基準	主に検収基準	—	従来より実施済み
固定資産の減価償却方法	定額法 or 定率法	主に定額法	定額法に統一	2013年度より実施済み
開発費	費用計上	一定の要件を満たすものは資産計上	開発費の一部を資産計上	当期より実施
のれん	20年以内で償却	償却しない (毎期減損テストを実施)	償却しない	当期より実施

この世界にDMG MORI

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。そしてその全ての人間活動に工作機械は欠かせません。一見関係がないように思える身近な日用品も、実はもとをたどれば工作機械が関わっています。



複合加工機
NTX 1000 2nd Generation

5軸マシニングセンタ
DMU 75 monoBLOCK

		航空・宇宙
ブリスク		
		船舶
計器パネル		
		自動車・バイク
ギヤボックス		
		医療
ソケット		
		一般機械
ガイドブシュ		
		エネルギー技術
ドリルヘッド		

グループ生産拠点

全世界でお客様をサポートしています。

- セールス & サービス 160 拠点
- ショールーム 71 拠点
- セールス & サービス社員 4,280 人

グローバルヘッドクォーター
DMG MORIのセールス・サービス・マーケティングを統括します。

1 東京 (日本) 2 Winterthur (スイス)

ナショナルヘッドクォーター
DMG森精機とDMG MORI AGの本社として機能します。

3 名古屋 (日本) 4 Bielefeld (ドイツ)

マニュアルファクトリーヘッドクォーター
全世界の生産・製造を統括する工場です。

5 伊賀 (日本)

生産拠点 (国内)

6 奈良 (日本) 7 千葉 (日本)

生産拠点 (海外・グループ会社)

8 Davis (アメリカ) 9 Tianjin (中国) 10 太陽工機 (新潟) 11 マグネスケール (神奈川) 12 Pfronten (ドイツ) 13 Seebach (ドイツ) 14 Idar-Oberstein (ドイツ)

15 Pleszew (ポーランド) 16 Tortona (イタリア) 17 Bergamo (イタリア) 18 Shanghai (中国) 19 Ulyanovsk (ロシア) 20 DIXI machines, Le Locle (スイス) 21 Tobler, Louvres (フランス)

連結財務諸表(要旨)

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	2015年3月31日現在	2015年6月30日現在
流動資産	124,138	295,970
非流動資産	199,620	285,727
有形固定資産	72,187	136,724
その他	127,433	149,001
資産合計	323,759	581,698
流動負債	92,811	230,818
非流動負債	64,574	103,447
資本合計	166,373	247,432
負債及び資本合計	323,759	581,698

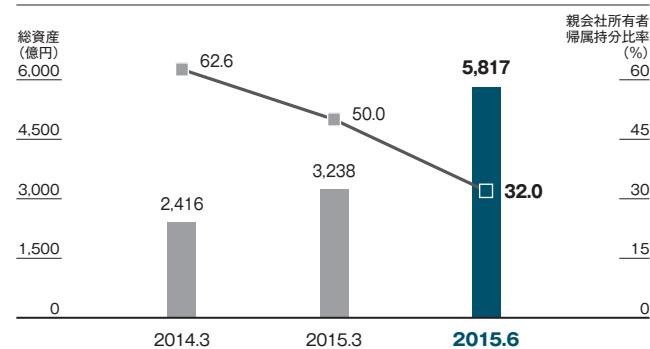
連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	自 2014年4月 1日 至 2014年6月30日	自 2015年4月 1日 至 2015年6月30日
収益合計	37,485	134,923
売上収益	37,241	96,065
その他の収益	244	38,857
費用合計	36,758	100,958
商品及び製品・仕掛品の増減	△ 1,234	△ 6,759
原材料費及び消耗品費	18,649	49,975
人件費	9,650	30,483
減価償却費及び償却費	1,530	3,813
その他の費用	8,162	23,445
営業利益	726	33,965
税引前四半期利益	1,741	33,678
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,672	32,318

(注) 1. 2015年12月期は決算期変更の経過期間となることから、2015年4月1日から2015年6月30日を当中間期としております。
2. 当社は、2015年12月期第1四半期よりIFRS(国際会計基準)を適用しており、比較基準の要請から2015年3月期もIFRSに準拠して作成しております。

総資産／親会社所有者帰属持分比率



詳細情報は

<http://www.dmgmori.co.jp/ir/>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	自 2014年4月 1日 至 2014年6月30日	自 2015年4月 1日 至 2015年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,282	△ 13,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,909	△ 11,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,316	43,045
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 23	1,067
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△ 3,967	19,433
現金及び現金同等物の期首残高	18,916	21,408
現金及び現金同等物の 四半期末残高	14,949	40,841

会社データ

会社の概要

2015年6月30日時点

会社名	DMG森精機株式会社
資本金	51,115百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	奈良県大和郡山市北郡山町106番地
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL:052-587-1811(代)
東京グローバル ヘッドクォータ	〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL:03-6758-5900(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造、販売、サービス
従業員	11,872名(連結)
ホームページ	http://www.dmgmori.co.jp

株式の状況

2015年6月30日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	132,836,203株(自己株式107,480株を除く)
単元株式数	100株
中間期末株主数	30,566名

大株主

2015年6月30日時点

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ディーエムジー モリ アーゲー (常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社)	12,797	9.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,201	5.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,415	4.83
モルガンスタンレーアンドカンパニーエルエルシー (常任代理人 モルガン・スタンレー-MUFG証券株式会社)	3,913	2.94
森 雅彦	3,540	2.66
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	3,306	2.49
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	3,117	2.35
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	2,839	2.14
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレー-MUFG証券株式会社)	2,669	2.01
森 智恵子	2,287	1.72
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,818	1.37
MSCO CUSTOMER SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレー-MUFG証券株式会社)	1,777	1.34
森 優	1,720	1.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,609	1.21
DMG森精機従業員持株会	1,581	1.19

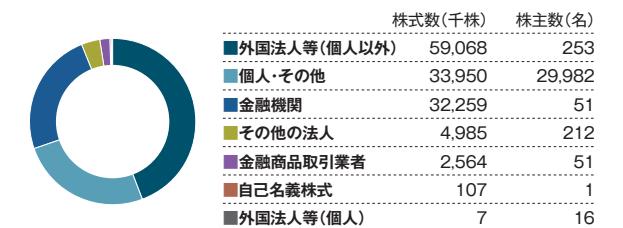
役員

2015年6月30日時点

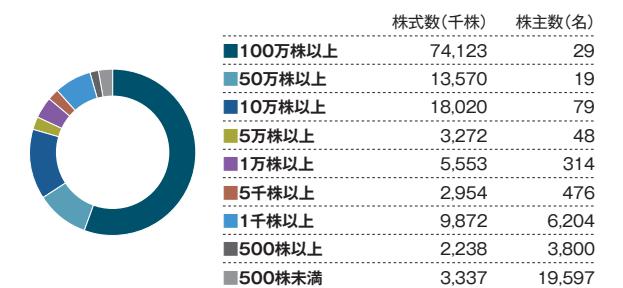
取締役社長	※ 森 雅彦
取締役副社長	※ 近 藤 達 生
取締役副社長	※ 玉 井 宏 明
専務取締役	高 山 直 士
取締役	大 石 賢 司
取締役	青 山 藤 詞 郎
取締役	野 村 剛
常勤監査役	佐 藤 壽 雄
監査役	加 藤 由 人
監査役	木 本 泰 行

(注) 1. ※印は、代表取締役を示しています。
2. 取締役の青山藤詞郎、野村剛の両氏は、社外取締役です。
3. 監査役の加藤由人、木本泰行の両氏は、社外監査役です。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日 (ただし、第68期は4月1日～12月31日の9ヵ月決算となります。)
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話:0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dmgmori.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。

製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。



TOPページ



IRページ

<http://www.dmgmori.co.jp>

